

# 砂防だより



空のキャンパス（東農大富士農場）

## 特集 第61回全国治水砂防協会 静岡県支部総会

## H18 土砂災害防止月間活動

全国治水砂防協会 静岡県支部通常総会	2
全国治水砂防協会総会	3
土砂災害防止月間活動	4
●急傾斜地パトロールの協働実施	
●「砂防フェスティバルしずおか」開催	
土砂災害に対する全国統一防災訓練の実施	6
平成17年度 砂防関係事業の代表的な完成箇所	8
インフォメーション	10
募集・お知らせ	12



全国治水砂防協会静岡県支部

本県の砂防事業の重要性を訴える

# 静岡県支部通常総会を開催

5月22日に、全国治水砂防協会静岡県支部の平成18年度（第61回）通常総会を、静岡市内で開催しました。

総会では、副支部長の原田袋井市長が議事に先立ち、「当県は全国でも土砂災害危険箇所が多く、土砂災害から県民の生命財産を守るため、より一層の努力が求められる」と砂防事業の重要性を訴えました。

続いて、牧野国土交通省砂防部保全課長、鈴木副知事、田島県議会建設委員長、大久保全国治水砂防協会理事長、全国治水砂防協会理事の斉藤衆議院議員よりご祝辞をいただきました。



祝辞を述べられる鈴木副知事



原田副支部長の挨拶



祝辞を述べられる斉藤衆議院議員



お忙しい中、全会員の出席をいただきました。

この後、議案の審議が行われ、平成17年度事業報告・収支決算報告、平成18年度事業計画・収支予算等が原案どおり承認されました。

総会終了後、牧野保全課長から「砂防の目指すもの」と題した講演をいただきました。

滞りなく総会が終了できましたことを関係各位に感謝申し上げます。

## <平成18年度事業計画の概要>

### 1 砂防事業の周知・啓発・普及

- ①国・県の実施する事業への協力  
・「土砂災害防止推進の集い(全国大会)」への協力
- ②会員による先進地視察研修の実施  
・九州北部の砂防事業現地視察
- ③砂防関係担当職員に対する研修会の開催  
・市町等砂防担当職員研修会の開催  
・土砂災害防止法講習会の開催
- ④他機関の実施する講習会等への参加

### 2 砂防事業等促進要望の実施

### 3 「砂防だより」や砂防関係図書の発行

### 4 全国治水砂防協会等への協力



牧野保全課長による講演

## 全国治水砂防協会通常総会開催される



綿貫会長の挨拶

砂災害から人命・財産を守るために」と題した講演会が行われました。

お忙しい中、ご参加をいただきました会員の皆様には心からお礼申し上げます。

5月17日に、(社)全国治水砂防協会の平成18年度(第70回)通常総会が、砂防会館で開催されました。

当日は、会員多数出席のもと、本部理事の齊藤斗志二衆議院議員をはじめ多くの国会議員が来賓として出席されました。当支部からは会計監査役の櫻井河津町長をはじめ17名の会員にご出席をいただきました。

総会は、綿貫会長による主催者挨拶の後、渡辺和足国土交通省河川局長の祝辞に続き、平成17年度の事業報告・収支決算報告、平成18年度事業計画・収支予算等が承認されました。続いて、功労者表彰が行われました。

総会終了後には、亀江国土交通省砂防部長による「土

### 参加市町

河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、長泉町、由比町、森町、熱海市、伊東市、三島市、伊豆の国市、函南町、小山町、島田市、牧之原市、掛川市、東伊豆町  
(計17市町) ※太字は会員本人の参加

**NEWS**

## 北側国土交通大臣が 由比地すべり地を視察



6月17日に、北側一雄国土交通大臣が由比地すべり地を視察されました。

由比地すべりは、平成17年度から国土交通省富士砂防事務所による直轄地すべり対策事業として新規着手されており、今回初めて現地を視察されました。

その後、静岡市内のグランシップにおいて「国土交通省における防災対策について」と題し、講演されました。



左から2番目が北側国土交通大臣、右から2番目が石川県知事  
(薩埵峠駐車場にて)



石井富士砂防事務所長より説明を受ける北側国土交通大臣

平成18年度

# 土砂災害防止月間活動 6/1~30

みんなで防ごう土砂災害

毎年、各地で発生する土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害により、多くの人命・財産が失われています。平成17年は、集中豪雨、台風、福岡県西方沖地震などにより全国各地で814件、県内で28件の土砂災害が発生しました。

国土交通省と静岡県では、梅雨で雨量が多く地盤がゆるみ土砂災害が発生しやすい6月を「土砂災害防止月間」とし、土砂災害及びその防止について県民の皆さまの理解と関心を深めていただくため、様々な活動を行いました。

## 主な活動

- 土砂災害に対する全国統一防災訓練
- 急傾斜地パトロールの実施
- 「砂防フェスティバルしずおか」の開催
- 広報活動の推進
- 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の展示
- 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の募集
- 土砂災害講習会の開催 など

## 1 急傾斜地パトロールの実施

～住民と砂防ボランティアとの協働～

5月24日から6月16日までの間に、県内794箇所急傾斜地崩壊危険区域において、地域住民や砂防ボランティア、土木事務所、地域防災局、市町、警察、消防と協働で、延べ821人を動員し、崩壊防止施設の異常の有無、がけ面の崩壊・亀裂の有無、排水路の機能状況などを点検しました。施設の破損や小規模の崩壊が確認された箇所については、早急に改善措置がとられます。



パトロールの様子

## 2 平成18年度 土砂災害防止推進の集い[全国大会]開催される

平成18年6月1日に、秋田市の秋田県民会館で「お年寄り 早めのよびかけ 一緒に避難」をテーマに、平成18年度（第24回）土砂災害防止推進の集い〔全国大会〕が開催されました。

特別講演では、秋田大学教育文化学部林教授より火山教育についての紹介があり、記憶に残る砂防教育の必要性について提言されました。

シンポジウムでは、近年の異常気象と土砂災害の実態をふまえ、土砂災害からの人的被害を防ぐため、早めの警戒避難のあり方について活発に討論されました。

翌2日は、3つのコースに分かれて、砂防事業・地すべり事業の現地見学が行われました。



主催者挨拶（国土交通大臣）

## 3 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文 平成17年度応募全作品の展示

平成17年度に募集した「土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文」の応募作品91点（小学校54点、中学校37点）を、6月1日から15日まで、県庁別館の21階展望ロビーに展示しました。

来訪者の方々は小中学生の作品を鑑賞し、土砂災害についての関心を深めていました。



応募作品の展示

## 4 「砂防フェスティバルしずおか」開催

6月4日に、土砂災害の恐ろしさや砂防事業の大切さを県民の皆さまに知っていただくために、静岡市葵区の葵スクエア・青葉シンボルロードで「砂防フェスティバルしずおか」が開催されました。

このイベントは国土交通省静岡河川事務所、沼津河川国道事務所、富士砂防事務所、静岡県、静岡市が主催し、土砂災害防止に関するパネルや模型の展示、砂防に関するクイズラリー、SBSラジオの公開生放送などが行われました。



静岡県テントで土砂災害について質問をする親子



砂防フェスティバル会場

当日は天候に恵まれ、子供からお年寄りまで約1万5千人もの来場者があり、土砂災害について関心を持っていただきました。

静岡県の展示コーナーでは、「森と水辺を育てる会」の皆さんが作成した竹炭・竹とんぼの配布をはじめ、土砂災害防止に関するパネルの展示、当支部では子供達に土砂災害防止啓発グッズの配布などを行いました。

## 5 市町における土砂災害防止広報活動の取り組み

各市町では、広報誌、有線放送、ケーブルテレビ、ホームページ等を活用して、土砂災害対策の重要性を広報していただくとともに、庁舎への横断幕・懸垂幕の掲示、公用車を活用した啓発広報の実施や、土砂災害防止講習会の開催など、土砂災害防止広報活動に取り組んでいただきました。

市町広報誌への掲載	下田市、河津町、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、伊東市、沼津市、三島市、小山町、富士宮市、芝川町、静岡市、焼津市、藤枝市、岡部町、菊川市、新居町
有線放送で広報	小山町、川根本町、菊川市
ケーブルテレビで放映	御前崎市
ラジオで放送	浜松市
ホームページで広報	三島市、富士宮市、静岡市
土砂災害防止講習会の開催	静岡市、藤枝市、牧之原市、磐田市
小中学校への土砂災害防止に関する出前講座	浜松市

みんなで防ごう土砂災害  
土砂災害防止月間  
6/1→30  
がけ崩れ防災週間6/1→7

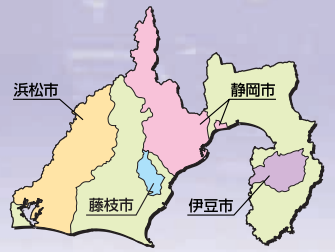


広報ひがしいず6 (2006年 No.403)



清掃車で土砂災害防止をアピール (静岡市)

# 初めての土砂災害に対する 全国統一防災訓練を実施



6月8日に、全国一斉に土砂災害に対する防災訓練が実施されました。この訓練は、台風等により土砂災害が発生した場合に備え、災害に対する警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を目的とするもので、34都道府県267市町村で訓練が実施され、行政関係者4,221名、地元住民2,995名の計7,216名が参加しました。

本県では、防災局実施の「風水害対処訓練」と連携し、県内全市町で避難勧告の発令等の情報伝達訓練を実施しました。また、静岡市・浜松市・藤枝市・伊豆市の4市で、お年寄りなど災害時に援護を必要とする人々を中心とした避難訓練が実施され、災害時要援護者63名を含む住民137名が訓練に参加しました。



避難状況（藤枝市滝沢地区）

市名	地区名	災害対策本部設置	情報伝達訓練	避難勧告等の発令訓練	消防団員の動員訓練	住民の避難訓練	災害時要援護者の避難訓練	防災講習会等の実施	応急復旧工法の検討
静岡市	大和田	○	○	○	○	○	○	○	○
静岡市	口坂本	○	○	○	○	○	○	○	—
浜松市	相生	○	○	○	—	○	○	—	○
藤枝市	滝沢	○	○	○	○	○	○	○	○
伊豆市	上船原	○	○	○	○	○	○	—	○

## 主な訓練内容

### POINT.1

#### 災害時要援護者の早期避難！

近年の災害で高齢者の犠牲者が多かったことから、避難に時間を要する災害時要援護者の早期避難のため、一般住民への避難勧告発令より前に災害時要援護者への避難準備情報を発信し、地域の自主防災組織と連携して避難所に誘導する、災害時要援護者の避難訓練。



災害時要援護者の搬送（藤枝市滝沢地区）

### POINT.2

#### スムーズな避難勧告の発令と情報伝達

住民から土砂災害の前兆現象の通報を受け、市町が避難勧告を発令し、対象地区等への通報体制の確認を行う情報伝達訓練。



避難状況（伊豆市上船原地区）

### POINT.3

#### 災害発生時の迅速な被災状況の報告

被災地から市町を通じ、県や国土交通省に被災状況や応急対応方針を報告する被災状況等の情報受伝達訓練。



現地対策本部（藤枝市滝沢地区）

## 藤枝市では…

昨年7月に地すべりが発生した藤枝市滝沢地区では、災害時要援護者の救急車による搬送やバスによる2次避難所への移送などが行われ、2次避難所では健康状態の確認等が行われるなど本番さながらの訓練が行われました。さらに救命処置の講習や土砂災害についての講習会が実施されるなど、当日の訓練は充実したものとなりました。訓練に参加された方々は、「改めて避難経路等の確認が出来た。」「今回の訓練を貴重な体験としていざというときに備えたい。」などと話していました。



避難住民の健康状態チェック（藤枝市滝沢地区）

## 静岡市では…

6月7日には、静岡市葵区口坂本地区において土石流を想定した土砂災害避難訓練が実施されました。午後1時30分に土石流センサーが模擬切断され、連動したサイレン及び監視小屋の赤色灯が作動すると同時に、同報無線及び戸別受信機により住民に情報が伝えられました。直ちに住民の避難が開始され、30分後の午後2時には全員の避難が確認されました。避難場所では、防災資機材及び地域防災無線の取り扱い訓練が行なわれました。



避難する参加者（静岡市口坂本地区）

## 土砂災害防止講習会を開催

6月8日、全国統一防災訓練を実施した静岡市葵区大和田地区で、訓練の一環として土砂災害防止講習会を開催し、地元の方々に土砂災害に関する防災知識の普及を図りました。

この他にも、土砂災害防止月間中に、藤枝市、牧之原市、磐田市において講習会を開催し、地域の自主防災会を中心に約200名が参加されました。



砂防室スタッフによる講習

訓練の様子は、新聞に大きく取り上げられました。



静岡新聞（H18.6.8 夕刊）

# 平成17年度

# 砂防関係事業の代表的な完成箇所

## 砂防事業

### ●多賀地川右支川砂防えん堤 (伊東市宇佐美)



平成16年10月の台風22号により土石流が発生したため、早急に砂防えん堤を施工し、人家56戸の安全を図りました。

### ●大浦洞沢砂防えん堤 (沼津市戸田)



平成16年10月の台風22号により土石流が発生したため、早急に砂防えん堤を施工し、人家25戸及び緊急輸送路(県道沼津土肥線)の安全を図りました。

### ●東ノ谷川砂防えん堤 (静岡市清水区鳥坂)



土石流による災害を防ぐため、砂防えん堤を施工し、人家16戸の安全を図りました。

### ●北之谷沢砂防えん堤 (菊川市河東)



土石流による災害を防ぐため、砂防えん堤を施工し、人家11戸の安全を図りました。

## ●砂防事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	開始年度	事業概要
舟場川	下田市相玉	265	H11	コンクリート砂防えん堤工 H=11.0m・L=64.0m (鋼製流木止め)
神辺川右支川	伊東市新井	399	H11	コンクリート砂防えん堤工 H=8.0m・L=53.5m, H=9.5m・L=55.5m
名草沢	伊東市宇佐美	225	H16	コンクリート砂防えん堤工 H=11.5m・L=68.0m [災関]
多賀地川右支川	伊東市宇佐美	123	H16	コンクリート砂防えん堤工 H=8.0m・L=35.0m (鋼製流木止め) [災関]
東小路沢	伊東市川奈	69	H16	コンクリート砂防えん堤工 H=7.0m・L=34.5m [災関]
大藪沢	御殿場市神山	166	H15	コンクリート砂防えん堤工 H=12.0m・L=51.5m (鋼製スリット)
大浦洞沢	沼津市戸田	255	H16	コンクリート砂防えん堤工 H=10.5m・L=85.5m [災関]
東ノ谷川	静岡市清水区鳥坂	184	H9	コンクリート砂防えん堤工 H=11.0m・L=34.0m, H=13.5m・L=42.0m
海老江沢	牧ノ原市大江	54	H16	コンクリート砂防えん堤工 H=4.0m・L=39.5m
北之谷沢	菊川市河東	114	H14	コンクリート砂防えん堤工 H=6.5m・L=34.5m, H=5.0m・L=36.5m
沢奥沢	浜松市春野宮川	163	H13	コンクリート砂防えん堤工 H=7.5m・L=39.5m, H=7.0m・L=35.5m
松間沢	浜松市小川	208	H13	コンクリート砂防えん堤工 H=14.5m・L=52.5m
船明西沢	浜松市船明	105	H14	コンクリート砂防えん堤工 H=9.5m・L=39.0m

## ●地すべり対策事業

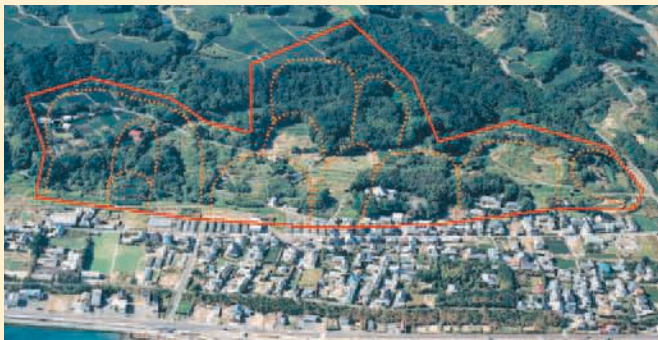
箇所名	位置	事業費(百万円)	開始年度	事業概要
落居	牧之原市落居	284	H9	横ボーリング工 L=3,435m、杭工 N=18本 アンカー工 N=45本
地頭方No.2	牧之原市地頭方	82	H16	横ボーリング工 L=490m、杭工 N=40本 [災関]
橋	周智郡森町橋	213	H16	横ボーリング工 L=2,000m、集水井工 N=5基、集水ボーリング工 L=3,800m [災関]



土砂災害から県民の生命と財産を守るため、土砂災害危険箇所への砂防関係施設の整備を行いました。  
平成17年度は、砂防事業13箇所、地すべり対策事業3箇所、急傾斜地崩壊対策事業25箇所が完成しました。

## 地すべり対策事業

### ●おちい ●落居 (牧之原市落居)



地すべりによる災害を防ぐため、対策工事を施工し、人家76戸及び国道150号の安全を図りました。

### ●のあき ●野秋 (焼津市野秋)



がけ崩れによる災害を防ぐため、対策工事を施工し、人家12戸の安全を図りました。

## 急傾斜地崩壊対策事業

### ●なかねいし ●中根石 (下田市中)



平成16年10月の台風22号によりがけ崩れが発生したため、早急に対策工事を施工し、人家11戸の安全を図りました。

### ●おぼた ●小畑 (浜松市水窪町奥領家)



がけ崩れによる災害を防ぐため、対策工事を施工し、人家16戸の安全を図りました。

## ●急傾斜地崩壊対策事業

箇所名	位置	事業費(百万円)	開始年度	事業概要
中根石	下田市中	71	H16	擁壁工 L=104m、法枠工 A=113㎡ [災関]
吉佐美里条	下田市吉佐美	58	H16	擁壁工 L=96m
船田	賀茂郡松崎町船田	334	H13	擁壁工 L=463m
緑ヶ丘町	熱海市緑ヶ丘町	96	H15	擁壁工 L=62m、法枠工 A=918㎡
桃山町	熱海市桃山町	55	H16	擁壁工 L=49m、法枠工 A=654㎡
江浦坂連道上	沼津市江浦	274	H11	擁壁工 L=243m
獅子浜No.2	沼津市獅子浜	256	H13	擁壁工 L=303m
久料下洞	沼津市西浦久料	73	H15	擁壁工 L=192m
神島山ノ根	伊豆の国市神島	255	H13	擁壁工 L=340m
馬場山崎	伊豆市馬場	201	H14	擁壁工 L=237m
渡寺山	静岡市葵区渡	162	H15	擁壁工 L=187m
中沢大林	静岡市葵区中沢	109	H12	擁壁工 L=105m
富沢ハンデバ	静岡市葵区富沢	226	H7	擁壁工 L=121m
大原上ヶ谷戸C	静岡市葵区大原	164	H15	擁壁工 L=288m
新聞一色	静岡市葵区新聞	137	H14	擁壁工 L=408m
水見色秋葉平	静岡市葵区水見色	114	H15	擁壁工 L=155m
新聞都澤	静岡市葵区新聞	83	H14	擁壁工 L=253m
大内杉谷津	静岡市清水区大内	66	H16	擁壁工 L=200m
杉山奥屋敷	静岡市清水区杉山	105	H14	擁壁工 L=211m
野秋	焼津市野秋	120	H15	擁壁工 L=256m
青田	掛川市倉真	151	H14	擁壁工 L=360m
三沢田中	菊川市三沢	68	H14	擁壁工 L=134m
森	菊川市中内田	66	H15	擁壁工 L=226m
伏	浜松市佐久間町相月	184	H10	擁壁工 L=144m
小畑	浜松市水窪町奥領家	122	H15	擁壁工 L=82m、法枠工 A=786㎡

## 環富士山火山防災連絡会 災害時相互応援協定を締結

5月10日に、富士山周辺の静岡県側9市町と山梨県側7市町村により「環富士山地域における噴火や地震などの災害時に備えた災害時相互応援協定」が締結されました。県境を越えて火山災害の応援協定を結ぶのは全国初です。

協定には、災害時の避難や救出、救護活動、支援物資の提供などで相互に応援することや、平常時の防災活動での協力内容を盛り込んでいます。

### ◆連絡会構成市町村

静岡県	沼津市、三島市、富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、長泉町、小山町、芝川町（9市町）
山梨県	富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、鳴沢村、身延町（7市町村）



締結を結んだ各市町の代表

## 木和田川の砂防災害復旧工事が全建賞を受賞

6月30日に、木和田川砂防災害復旧工事が全建賞を受賞しました。木和田川の石張(兜)えん堤は、大正元年に完成し、平成14年6月に8基の砂防えん堤が登録有形文化財として登録されましたが、平成15年7月3～4日の梅雨前線豪雨の出水により、文化財のひとつである二号えん堤が決壊したため、砂防災害復旧事業を早期に実施し、平成16年11月末に美しい姿に復元したことが評価されました。

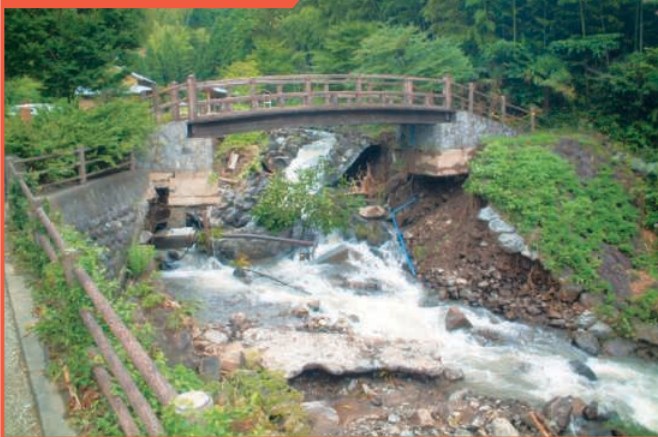
復旧にあたっては、地元関係者と町・県で構成する復旧検討委員会を設置し、(財)文化財建造物保存技術協会の技術指導を受け復旧しました。

現在は、元のような美しい姿で訪れる人々に親しまれています。



全建賞

### 被災直後の二号えん堤



### 復旧後の二号えん堤



## 静岡市都市山麓グリーンベルト 子供たちと作業会の実施

5月21日に、都市山麓グリーンベルト（砂防樹林帯）の整備を進めている清水区大内地区で、住民・ボランティアとの協働により竹の伐採および植樹した樹木への施肥を行いました。

これは、竹林の繁茂を防ぎ土砂災害に強い樹林帯を育てることを目的として行われているもので、「森と水辺を育てる会」（ボランティア団体）が中心となり、「わくわく少年教室」（高部小、高部東小）の児童、父兄と行政関係者、約70名が参加して行われました。



わくわく少年教室の皆さん

## 台湾調査団が静岡県を訪問

4月20日に、日・台砂防技術交流「防災・救済事業検討会」調査団の台湾台南懸消防局及び国立成功大学防災研究センターの6名が防災対策の現地調査のため静岡県を訪問されました。

調査団は、沼津市の津波対策水門「びゅうお」を視察した後、県庁を訪問し、防災局で地震対策、砂防室で土砂災害対策、土木防災室では水防対策の説明を受け、水防対策室（サイポス）を視察されました。その後、静岡県地震防災センターを視察されました。



説明を受ける調査団の皆さん

## 根室市議会議員が静岡県視察



説明を受ける視察団の皆さん

6月8日に、根室市議会総務常任委員会の一行7名が行政視察のため静岡県庁を訪問されました。

砂防室より、静岡県の防災対策や土砂災害対策の概要及び砂防事業のハード対策とソフト対策の具体的内容について説明を受けた後、静岡市内の丸山町急傾斜地崩壊対策事業の現場を視察され、活発な意見交換が行われました。

## 平成18年度（社）砂防学会通常総会並びに研究発表会が開催される

5月24日～26日に、平成18年度砂防学会通常総会及び研究発表会が和歌山市で開催されました。（静岡県から12名出席）

研究発表会では、効果的な土砂災害情報伝達手法の検討等、人口減少・高齢化を迎える中山間地の土砂災害対策のあり方について議論がなされました。

続いて、土砂生産・土砂流出のメカニズムに関する研究から砂防構造物に関する研究まで幅広い分野の最新の研究成果が発表されました。

最終日は、和歌山市から高野町高野山方面に向かい国定公園内で整備された不動谷通常砂防事業の整備状況を見学しました。



不動谷通常砂防事業

## 砂防室職員が土砂災害防止法による区域指定先進県を視察

静岡県では、平成17年度末までに、土砂災害防止法に係る土砂災害警戒区域を178箇所指定しました。全国的にもほとんどの都道府県で区域指定を行っており、平成17年度末には14,296箇所が指定されています。

中でも長野県や福井県では、平成17年度の1年間に1,000箇所以上の区域指定を行っており、区域指定のプロセスで全国的に課題となっている住民説明会をどのように行っているか等について、両県庁に赴き、調査を行いました。

両県において共通することは、市町村と連携し指定業務を進めており、指定箇所数を増やしていくためには、市町の協力は不可欠であると思われました。本県において、今後の指定業務を進める上で大変有意義な調査となりました。



平成18年	4月	19日	土木事務所砂防企画担当者会議（静岡県庁）
		27日	東海地区砂防課長会議
	5月	12～31日	土砂災害防止法説明会（静岡県内全土木事務所）
		16日	全国砂防課長会議（東京都砂防会館）
		24日	全国地すべりがけ崩れ対策協総会（東京都砂防会館）
	6月	23日	土砂災害防止法連絡会（静岡県庁）

## 【平成18年度】土砂災害防止啓発用品等の紹介コーナー

当支部では、土砂災害防止啓発のため下記の啓発用品を購入・配布しました。



マスコット



横断幕（牧之原市役所相良庁舎）



車貼付けマグネットシート



砂防フェスティバル会場で配布しました

救急絆創膏

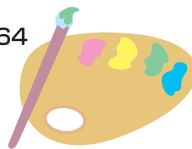
## 募 集 コ ー ナ ー

### 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝える絵画やポスター、作文を募集します。優秀作品には国、県の表彰のほか、応募者には参加賞を用意しております。是非ご応募下さい。

- 【募集対象】 小中学生
- 【応募期間】 6月1日～9月15日
- 【応募方法】 作品には応募者の学校名（ふりがな）、学年、氏名（ふりがな）を明記して下さい。  
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
- 【応募先】 TEL054-221-3042 FAX0654-221-3564  
静岡県土木部砂防室 土砂災害対策スタッフ

募集については砂防室ホームページからご覧いただけます  
<http://doboku.pref.shizuoka.jp/sabou/index.html>



平成17年度  
国土交通省砂防部長賞  
浜松市立浜名中学校2年  
平野 麻衣さんの作品



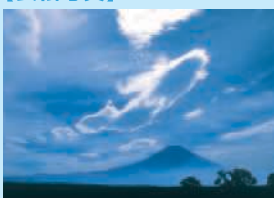
### 2007砂防カレンダー「砂防工事現場周辺の山・谷・川」写真コンテスト

- 【応募資格】 制限はありません
- 【テーマ】 砂防関係工事（砂防、地すべり、かけ崩れ対策など）現場やその周辺の仕事、暮らし、余暇活動、山、溪流、花、動物等。
- 【サイズ】 カラー写真で四切りサイズとします（四切りワイドを含む）。
- 【締め切り】 夏の写真 平成18年 9月30日（消印有効）  
秋の写真 平成18年12月26日（ 〃 ）
- 【応募先】 NPO法人砂防広報センター TEL (03)3459-1591  
過去の入賞作品、応募要綱等はホームページからご覧になれます。  
<http://www.sabopc.or.jp>



- 8月24～26日 市町村長等砂防事業視察（福岡県・大分県）
- 9月1日 防災の日（総合防災訓練）

#### 【表紙写真】



空のキャンパス〈東農大富士農場〉  
松下 征夫さん（静岡市）

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記まで問合せ下さい。

#### 編・集・後・記

今年も梅雨の季節を迎え、各地で土砂災害が発生しています。土砂災害防止月間に併せ行われる急傾斜地パトロールに参加しました。自然と共に、安全に生活するために、土砂災害対策の重要さと難しさを改めて実感しました。

情報提供、執筆を関係各位にお願いしております。是非ご協力をいただくとともに砂防だよりをご愛読いただきますようお願い申し上げます。

砂防だよりは砂防室ホームページでご覧いただけます。砂防室HPアドレス：<http://doboku.pref.shizuoka.jp/sabou/index.html>